

武 生 商 工 会 議 所

機関名	武生商工会議所		
所在地	福井県武生市塚町 1 0 1		
電話番号	0 7 7 8 - 2 3 - 2 0 2 0		
地域概要	(1)管内人口 7万3 千人	(2)管内商店街数 14 商店街	
事業の対象となる商店街の概要	(1)商店街数 3 商店街	(2)会員数 142 商店	
	(3)空店舗率 3 %	(4)大型店空き店舗数 0 店	
商店街の種類	1.超広域型商店街 2.広域型商店街 3.地域型商店街 4.近隣型商店街		

【事業名と実施年度】

平成 12 年度 空き店舗対策事業 チャレンジショップ、イベント
共用広場愛称募集
総事業費 25,613 千円

【事業実施内容】

1. 背景

福井県武生市は、福井県の中部に位置し、県第 2 位の人口規模を持つ商工業都市である。

かつて大化の改新頃には国府が置かれ、北陸地方における中心機能を果たしており、また、「源氏物語」を著した紫式部が一時住んでいたことでも知られる歴史・文化の香り漂う街である。

しかし、近年武生市内の市街地中心部では、幹線道路沿いやそれに隣接する道路に面した商店街に空き店舗が顕在化しており、その数は、約

30 店舗で全体の約 3%にのぼった。また、当市においても市街地機能の郊外化の流れは顕著であり、このことは、地域活力の減退を招くだけでなく、地域住民の活力をも低下させている。さらに、今後も引き続き中心部の商店街の疲弊が予測される。

その状況下、蓬萊本町・中央広小路の両商店街は、進行中である「蓬萊地区街並環境整備事業」の開発地区に隣接しており、今後の街づくりに求められる、特色ある街区（潜在的な要素も含めて）への効率的な資本投下を具体化しつつある。その意味においても、当該地区の整備事業を様々な形で支援することが、武生市の今後の街づくり、中心市街地活性化に大きく寄与していくものと思われ、当事業を実施した。



武生市周辺図

2. 事業内容

(1) チャレンジショップ事業(蓬萊再生事業における『蔵』、同地区周辺の空き店舗を活用した店舗出店者を公募する事業)

1) 広報周知

実施期間中、下記の実施事業と並行して、対象店舗に対する出店者を、新聞折込チラシ(46,400枚)、新聞掲載広告によって募集する。

2) 応募資格と支援

チャレンジショップの応募資格および支援内容等は、以下の通りである。

応募資格	平成12年4月1日現在福井県内に在住し、以降5年間福井県内に継続して存住、営業活動をすると思込まれる者であって、同日現在20歳以上で心身健康な者。男女の別は問わない。
支援内容	出店店舗の家賃を補助し、その他営業活動に必要と思われる情報を出店者の希望に応じて提供する。
支援実施期間	平成12年8月14日(月)～平成14年3月31日(日)

3) チャレンジショップ事業応募実績と選考に関する概要

上記のとおり広報周知を行った結果、説明会出席申込者37名、説明会参加者数28名、書類応募者数13名(小売9・サービス3・飲食1)、選考を経て3名の出店が決定した。

4) 空き店舗の概要

空き店舗名	面積
a.蔵1(蓬萊再生事業の「蔵」)	49.5㎡(15坪)
b.空き店舗1(蓬萊ビル)	51.48㎡(15.6坪)
c.空き店舗2(元光文堂電化センター店舗)	117.52㎡(35.63坪)

5) 出店店舗の概要

店舗名	取扱商品	出店者
a.グリーンステージ	生花・雑貨・ガーデニング・(造園)コンサルティング	男性
b.雑貨屋	アジア雑貨(日本製・ミャンマー製・インド製)	男性
c.Fight Club MD	総合格闘技トレーニングジム	男性

(2) イベント事業

空き店舗活用事業の開始時期に合わせて、近隣地区で集客を図れるイベントを同時に開催し、より効果的な空き店舗の活用を目指す。

1) 「チャレンジショップグランドオープンイベント」

- ・日 時：平成13年8月14日(月) 15:00～21:40
- ・参加人数：来場者数 約4,000名
- ・内 容：フリーマーケット、オープンカフェ、デキシーランドジャズバンドパレード、FESTA SHOW - KA アコースティックライブ、チャレンジショップグランドオープンセレモニー

2) 「第1回蔵の辻フェスタ」(総社祭礼に合わせた開催)

- ・日 時：平成 13 年 9 月 14 日（木）15:00～21：30 / 15 日（祝） 15:00～21：00
- ・参加人数：来場者数 14 日 約 1,000 名 / 15 日 約 3,000 名
- ・内 容：14 日 地酒の無料サービス、シドニーオリンピック中継、パラパラパーティ、佐佳枝の宮葵太鼓、飲食コーナー
15 日 民間保育所連合会 ゲームテント・「園児の絵」パネル展、シドニーオリンピック中継、園児御輿巡業、武生商工会議所婦人会チャリティバザー、古本販売、飲食テント、ボーイスカウト上進式、佐佳枝の宮葵太鼓、大道芸、スーパービンゴ大会

3)「第 2 回蔵の辻フェスタ」(菊花マラソンにあわせた開催)

- ・日 時：平成 13 年 11 月 3 日（祝）
- ・参加人数：来場者数 約 900 名
- ・内 容：10:00～16:00
体験製作コーナー、フリーマーケット、菊花マラソンファミリー部門スナック写真プレゼント(スナップ写真 360 枚掲示。うち 240 枚プレゼント)

4)「第 3 回 蔵の辻フェスタ」(年末カウントダウンイベント)

- ・日 時：平成 12 年 12 月 31 日（日）
13:00～平成 13 年 1 月 1 日
（祝）2:00
- ・開催場所：「蔵の辻」(武生市蓬莱町)
- ・来場者数：約 500 名
- ・内 容：地元商店から「ぜんざい」「甘酒」の無料サービス、地酒の無料サービス、総理府主催新千年紀記念事業「インターネット博覧会(インパク)」のインターネット中継投影、開運富くじ抽選会(販売枚数 310 枚)特別賞として ル・シック・エル賞(10,000 円のお買物券)、コンセントバー 2nd 賞(ボトルキーブ無料券 2 枚)、グリーンステージ賞(生花)、芹川造園賞(現金 10,000 円)、武生ギフト賞(現金 10,000 円)、商店街からの福袋販売(販売実績・・・@10,000×2 個)、本宮れい子歌謡ショウ(11:40～11:55)



5)「第 4 回蔵の辻フェスタ」

- ・日 時：平成 13 年 3 月 20 日（祝）10:00～17:00
- ・開催場所：「蔵の辻」(武生市蓬莱町)
- ・参加人数：来場者数 約 3,000 名(計画時)
- ・内 容：体験コーナー、フェイス&ボディペインティング、蔵の街でトンテンカン(木工教室)、リボンでアート(針ハンガーリサイクル)、発泡スチロール工

作、村の達人のむかしあそび、人気アニメ「ワンピース」キャラクターショウ、アンプラグドストリートライブコンテスト、ノミの市（フリーマーケット）

（3）共用広場愛称募集事業

1）目的

蓬萊地区街並環境整備事業推進地区内に完成した広場に、広く一般市民から愛称を公募することにより、空き店舗対策事業の一般市民への周知を図ることを目的として実施する。

2）実施団体

主催：武生商工会議所 共催：蓬萊地区再生事業推進協議会 協賛：武生市観光協会

3）応募方法 ハガキ・ファックス・Eメールにて応募（一人何点でも応募可能）

4）賞品：最優秀賞 1点・・・全国共通図書券 30,000円分

優秀賞 2点・・・全国共通図書券 10,000円分

5）広報・PR・・・武生商工会議所会報，丹南CATV，武生市広報

6）応募数・・・ハガキ188、FAX90、Eメール50 計328

7）審査：8月7日（月） 於：武生商工会館

審査基準：「蔵」というポイント（場所）を明確にイメージできる名前であること

審査経過：応募作品を事前審査で約50点に絞込み、審査員全員による協議を経て愛称が決定した。

8）愛称：最優秀賞（決定愛称）「蔵の辻」佳作1「蔵往来」佳作2「蔵しっく回廊」

【 効 果 】

1．武生商工会議所空店舗対策支援事業

（1）チャレンジショップ事業（空店舗への新規出店者募集事業）

今回の募集に関しては、新聞記事広報をはじめ、各種のメディアを通じて告知をした結果、当初40件弱の問い合わせがあり、「家賃補助」というランニングコストの軽減が、新規出店希望者に対して一つの魅力になり得る事は確認された。

しかしながら、本事業は街づくり事業の一環として、対象となる空き店舗に各種の支援を受けて出店する事の意義（中心市街地の活性化の一翼を担うという点を出店者が、自分本意にではなく正しく理解する必要があり、その点に関して合意形成が必要不可欠である事を年頭に、出店者決定の審査が成された。



(2) 各店舗の実績

店舗名	来店客層	顧客単価
雑貨屋	20 から 50 代の女性	1,200 円から 1,500 円
グリーンステージ	20 から 50 代の女性	2,000 円以内
Fight Club MD	10 代後半から 20 代後半	3,000 円から 5,000 円(月額会費)

《雑貨屋》

- ・店主の創意工夫による差別化...商品の絞込み、季節ごとの品揃え、オリジナル商品受注
- ・更なる展開への意欲 ...情報発信拠点としてのインターネット事業への模索

《グリーンステージ》

- ・店舗イメージ作りの徹底 ...蔵の雰囲気を生かし、店舗のイメージを上げる
- ・コンサルティング業務の実践...物販とコンサルティング業務の受注が半々であり、コンサルティング業務が付加価値を生んでいる
- ・飛び込み客の定着化への努力...飛び込み客が多い当店において、一度来店されたお客様を定着するために DM を精力的に出している
- ・商店街活動への協力 ...商店街イベントのときなど、商材を惜しみなく提供している

《Fight Club MD》

- ・門下生の大幅な増員 ...当店舗開店により、門下生の大幅な増員が見られた。

2. 共用広場愛称募集事業

全国から 300 通を超える応募があり、「蔵の辻」と命名された同広場の認知度を十分に高め、また中心市街地の新たなイベント会場としての周知が効果的に成されたと思われる。

3. イベント事業

通算 5 回実施したイベント事業により、対外的には、この広場（エリア）が武生市の中心市街地の賑わいを創り出す会場として、一般市民に認知されるようになった。

また、実施にあたって、行政はもとより、地元各種団体からの様々な協力体制を得た事、特に地元商店街では今年度のこの事業を契機として、商店を支える女性陣により「蔵の辻おかみさん」が組織され、献身的な協力体制を敷くなど、地元住民の自分達の街に対する意識の成長が認められたことが特筆される。イベントはコミュニティーを育て、コミュニティーは「街」を形成してゆく。果たす役割は決して小さくはないことが再認識された。



イベントは通算 5 回実施

【課題・反省点】

1. チャレンジショップ事業

《雑貨屋》

経営者は、同店舗を小売業務による「情報発信拠点」ととらえており、今後文字通りの「発信」業務（インターネット関連事業）に取り組む計画である。雑貨小売店という比較的利幅の小さい財務内容を具体的な情報発信業務により、いかに効率的な収益体制を作り上げていくかが今後のポイントと言える。

《グリーンステージ》

今後は、前述したとおり、一度訪れた客をいかにして継続顧客にしてゆくかが最大の課題であり、密な情報発信がより一層期待されるところである。

《Fight Club MD》

営業開始時刻が 20 時以降と周辺の商店街の営業時間との間に整合性がなく、本事業の趣旨との間に乖離が認められる点、課題として認められている。

また、収益を発生させることが第一の目的ではないため、商業空間における一つの業態としては機能しているが、商店街に対する波及効果といった面からすると乏しい面がある。

2. イベント事業

会場設備に関しては、広場そのものがイベントを目的として設計されていないため、広場内の緑地や許容電力等に若干の支障が認められるが、この点は今後の広場の位置づけを検討していく上での一つの課題である。

また、イベント開催日とそれ以外の日の集客数・来街者数に大きな差があることも課題としてあげられる。イベント企画側には「イベント時の来街者をいかに周辺商店街に向かわせるかの工夫」、周辺商店街には「イベントの来街者をいかに効果的に自店の顧客として取り込むか、継続顧客にして行くかの工夫」が求められるところである。

【関連URL】

武生商工会議所 <http://www.hokuriku.ne.jp/takefu/>